

原発事故からもう（まだ）11年 あの日、福島で経験したこと



2022.2.6 Zoomお話し会

地脇 聖孝(元福島県西郷村民)

本題に入る前に..... 11年前にタイムスリップ

- 11年前に流れていたテレビCM
- 企業がCMを自粛、このCM一色に
- 3.11震災・原発事故の象徴となった
- 「1号機、ポポポポ～ンしたから俺、今から逃げます」



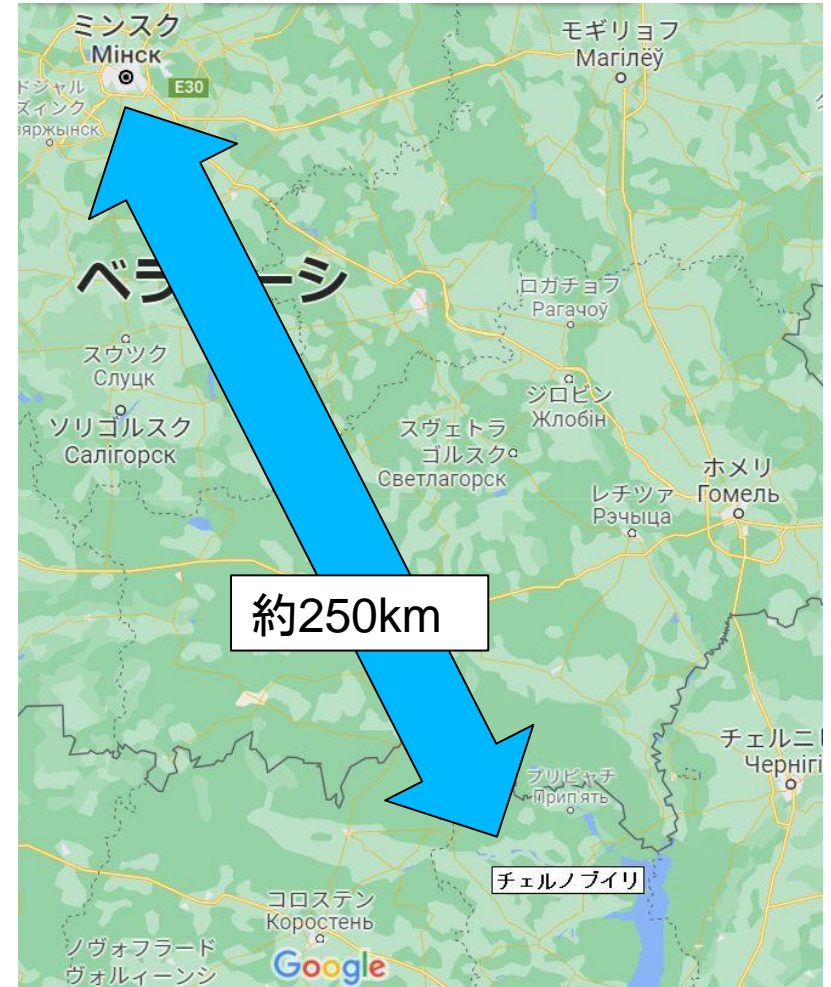
2011.3.11 そのとき私は・・・

- 激しい揺れでしばらく動けず
- 自宅は被害なし。「被害者を受け入れなければならぬかも」とぼんやり考えていた。直後に停電、断水
- 停電中、職場で聞いたラジオで「原子力緊急事態宣言」の発令を知る(午後4時半?頃)
- 電気、水道は5～6時間後にすぐ復旧(国道を隔てた向かい側では復旧に数日要した場所も)
- 停電復旧後、なぜか地上波が映らず、仕方なく観ていたBSテレビのニュースで、深夜になっても福島第1に電源車が到着していないという事実を知る

「原子力緊急事態宣言」を聞いて

- 「福島の水はいずれ飲めなくなる」と直感、風呂を掃除して浴槽一杯に水を貯める～この時点では避難が必要とは考えていなかった。
- 福島第1は「メルトダウンが始まっている」と口走った原子力安全・保安院の幹部が更迭。このあたりから「避難した方がいいかもしれない」と考え始める
- 直感的に思い出したのは「チェルノブイリ」
- 復旧したネットで、チェルノブイリのことを調べ、愕然とした。

チェルノブイリを調べてみると①



チェルノブイリ～ナロジチ
が直線距離で80km。

チェルノブイリ～ミンスク(ベラルーシ首都)までは約250km(福島第1～東京とほぼ同距離)。

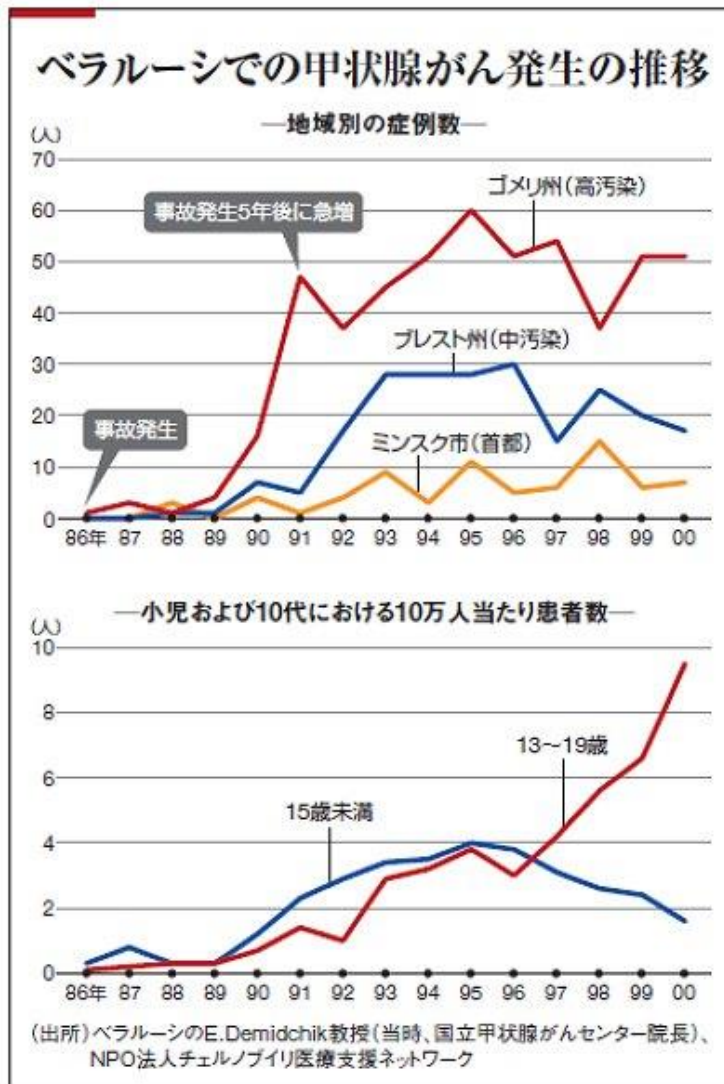
チェルノブイリを調べてみると②

福島第1原発
から西郷村ま
での距離も約
80km。

チェルノブイリ
～ナロジチとほ
ぼ同じ距離。



事故直後に見通した福島、東京の運命



事故直後に見つけたデータ。

福島第1／チェルノブイリからの距離で見ると、ゴメリが福島市、ミンスクが東京にほぼ相当。

とっさに思い出したデータ

2007年1-11月にナロジチ保健防疫所放射線検査室で行われた食品放射能測定に関する情報

No.	品 目	サンプル総数	規準値外サンプル 絶対数	放射能(ベクレル/kg/ℓ)		
				%	最低値	最高値
1	肉及び肉製品	65	6	9.2	4	10,800
2	鶏肉及び鶏肉製品	19	0	0	12	34
3	鶏卵及び卵製品	60	0	0	2	2
4	牛乳及び乳製品	275	49	17.8	7	142
5	うち原料乳	139	42	30.2	7	142
6	牛乳加工工場の加工乳と乳製品	0				
7	魚及び魚肉製品・海産物	76	0	0	2	18
8	パン及び粉・穀物製品	28	0	0	2	4
9	砂糖及び菓子	25	0	0	2	3
10	野菜・果物	590	0	0	2	8
11	うちジャガイモ	188	0	0	2	12
12	野生の食品	176	80	45.4	19	64,400
13	うちキノコ	100	58	58	19	64,400
14	ベリー類	41	22	53.6	118	4,300
15	薬草	35	0	0	8	101
16	植物油	21	0	0	2	3
17	飲み物	49	0	0	2	6
18	蜂蜜及び養蜂製品	27	0	0	2	60
19	児童用食品	46	0	0	2	17
20	保存食品	36	0	0	2	6
21	その他の食品	3	0	0	2	2
	総計	1,496	135	9		

ナロジチ地区保健検疫所所長代行 (サイン) M.V.ラドシコ

西郷村の運命を悟る

- 浜岡原発反対運動をしていた名古屋時代の仲間が事故直後、送ってくれたデータ。
- 福島第1～西郷村とチェルノブイリ～ナロジチはどちらも距離がほぼ同じ(約80km圏内)。
- そのナロジチで、**チェルノブイリ事故(1986年)**から21年後の2007年になっても、肉製品から**10,800bq/kg**、キノコ類からは**64,400bq/kg**の**放射性セシウム**が検出(しかもナロジチ地区保健所長の署名がある公的データ)。

一時避難を決意～各地を転々

- 「このまま電源車が間に合わなければ、西郷村は日本のナロジチになる。自分の生きている間は、ここで獲れた物は二度と食べられないだろう」と悟り、一時避難を決意(3/12夜)。
- この時点で、戻ることは考えていなかった。貯めていた風呂の水を抜き、自宅を出る。
- 燃料不足でガソリン購入が10Lまでに制限される中、車に最小限の荷物を積み、東京へ。
- 3/15午後「東京も危険」との連絡で大阪へ。

4月中旬、福島に戻った

- 結局、「うつ状態で勤務不能」との診断を受け大阪で休業。4月中旬に職場復帰。
- 復帰直後、小声で「お前、本当は原発避難だろ」と言われる(言ってきたのが労務担当者だったので、一時は解雇も覚悟した)。
- だが意外にも「俺も本当は(避難)したかったな。〇〇と〇〇も家族は避難してるぞ」とも。そのまま避難は不問に付された(きちんと病気休暇の手続をしていたことが大きい)。

周辺の汚染状況

- その後、職場の敷地内の土壌で7000bq/kgを測定。
- タケノコ採りが趣味だった職場の仲間は、タケノコが食べられなくなりふさぎ込む(タケノコは成長が早い、成長が早い＝放射性物質をよく吸う、ということでもある)。
- 2011年7月、自宅近くの神社で除草後、積んであった雑草に線量計(10 μ Sv/hが上限)を当てると、振り切れた。

当時、使っていた簡易線量計



- ウクライナ製 RADEX-RD1503
- 10 μ Sv/hが上限
- 2011.7月頃、ようやく価格が下がり、3万円台で入手
- 警報の鳴る線量を0.3/0.6/1.2/OFFに切り替え可
- 初期設定では0.3 μ Sv/hに設定されているが、福島では鳴りっ放しだった。1.2に設定を変えたが、それでもたびたび鳴った。

当時の測定場所



当時の測定場所(福島県
西郷村転作促進技術研
修センター)

その後は新白河駅(高原
口)などに場所を変えな
がら、測定は福島を去る
直前の2013年3月まで週
1回のペースで継続。

放射能測定値データ(空間線量)

福島第1原発事故に伴う放射能測定値データ(福島県西郷村)										
年月日		2011/10/1	2011/10/2	2011/10/3	2011/10/4	2011/10/5	2011/10/7	2011/10/8	2011/10/9	2011/10/10
測定時間		19:40~19:50	18:10~18:20	18:45~18:55	18:30~18:40	16:30~17:30	18:15~18:25	16:00~16:15	16:00~16:10	17:15~17:30
気象条件	天候	曇	曇	晴	晴	雨	晴	曇	晴	晴
	風向	北北東	北北東	北北西	東南東	北東	北西	北東	南南西	北北西
	風速(m/秒)	4	2	3	3	1	6	3	3	4
測定値(μ Sv/時)	大気中(高さ100cm)	0.87	0.80	0.87	0.77	0.88	0.83	0.72	0.88	0.85
	土壌(高さ10cm)	1.27	1.29	0.98	1.17	1.19	1.08	1.08	1.31	1.09
測定値(μ Sv/時)	自宅室内(構造:RC)	0.20	0.21	0.19	0.18	0.17	0.18	0.18	0.19	0.17
備考										

- RADEXで測定を始めた頃のデータ。鉄筋コンクリートの建物内は線量が低い。
- 木造は外とあまり変わらない、という人も。

簡易線量計は「実力あり」

	小田倉小学校	西郷村イオン前
モニタリングポスト	0.148	0.509
簡易線量計	0.29	0.56

- 行政は市民が測定した簡易線量計の数値を決して認めず、測定結果を持ち込んでも「相手にされない」という声は、何十人もの福島県民から聞いた。
- しかし、今振り返ると、行政が設置したモニタリングポストの数値と大差がなく、簡易線量計は市民が自分や周囲の人を防護する目的なら十分使える。
- 問題は線量計の性能より「都合の悪いことはなかったことにする」行政の姿勢（現在も続いている）。
- なかったことにされたもの……汚染、健康被害、「自主」避難者

福島市渡利地区の深刻な汚染実態

継続する深刻な汚染 — 福島市渡利地区

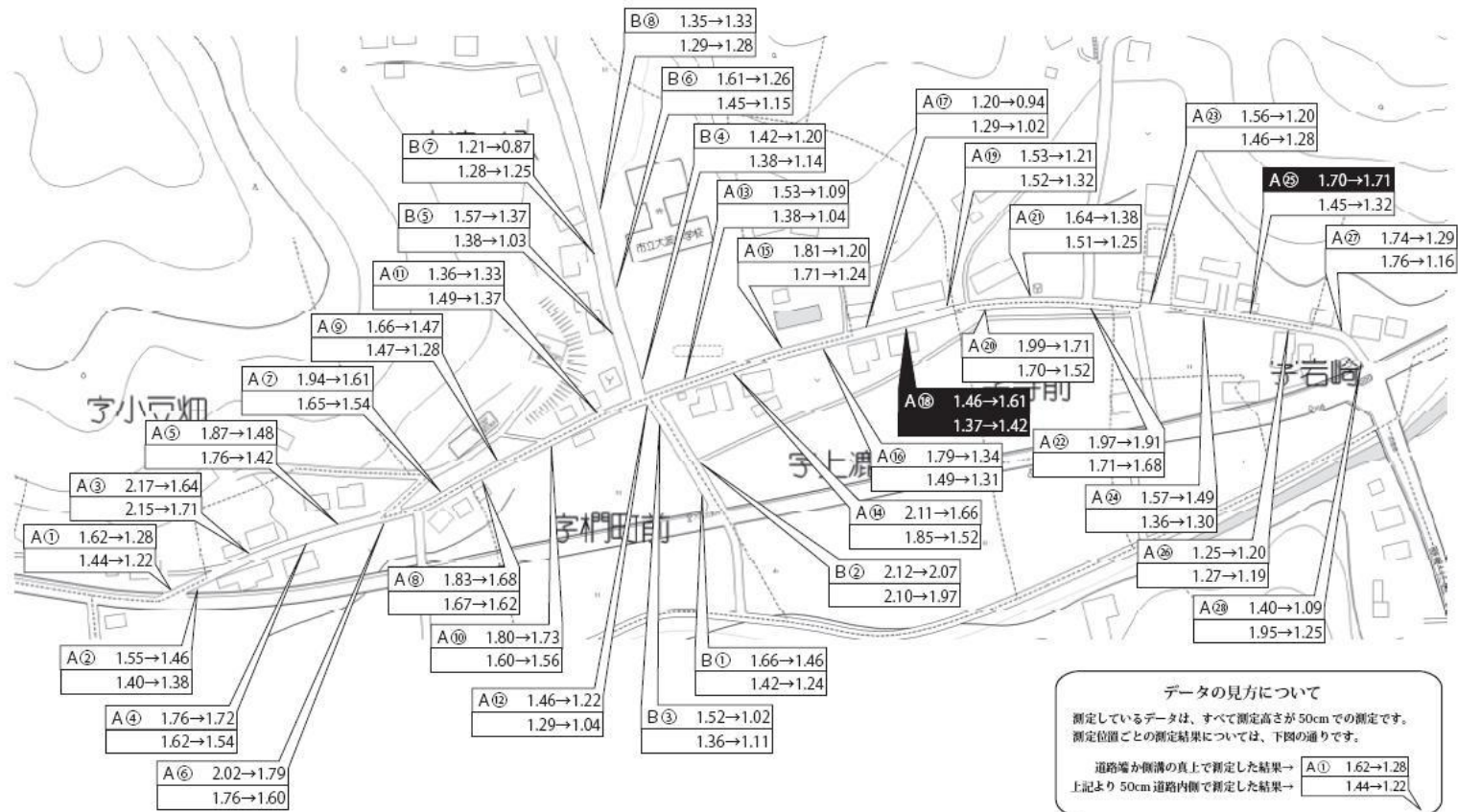
2012.10.14 フクロウの会 / FoE Japan測定

場所	空間線量率 μSv/h		土壌中のセシウム濃度 (Bq/Kg)
	1m	1cm	
小倉寺稲荷山	1.8	12.8	188,000
渡利小学校通学路	0.7	1.3	
通学路わき雨水樹	1.8	5.6	
渡利薬師町水路中央	4.4	18.5	515,000
渡利薬師町水路西側	3.7	8.2	38,400
渡利薬師町水路東側	3.5	13.0	49,100
渡利薬師町水路そばU氏宅柿の木の 下	1.4	1.4	
渡利薬師町T氏宅の庭	1.1	3.1	115,000
渡利薬師町T氏宅の庭の苔			489,000

※ 日本の法律では埋め立て使用可能基準は8000Bq/Kg以下。

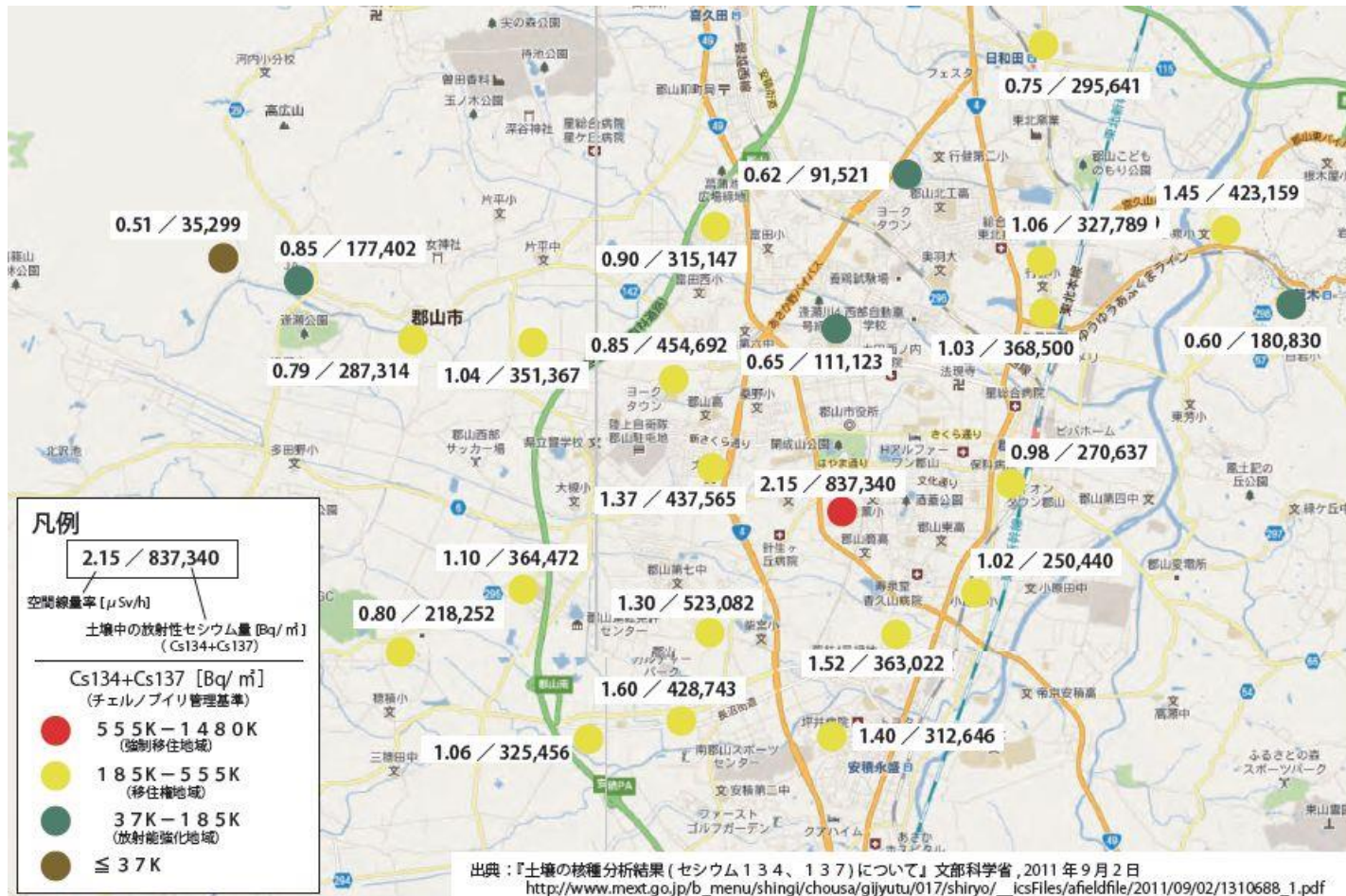
除染は役に立ったのか？

大波小学校通学路除染モデル事業測定結果（測定位置：側溝上・道路端ならびに内側 50cm、高さ 50cm）



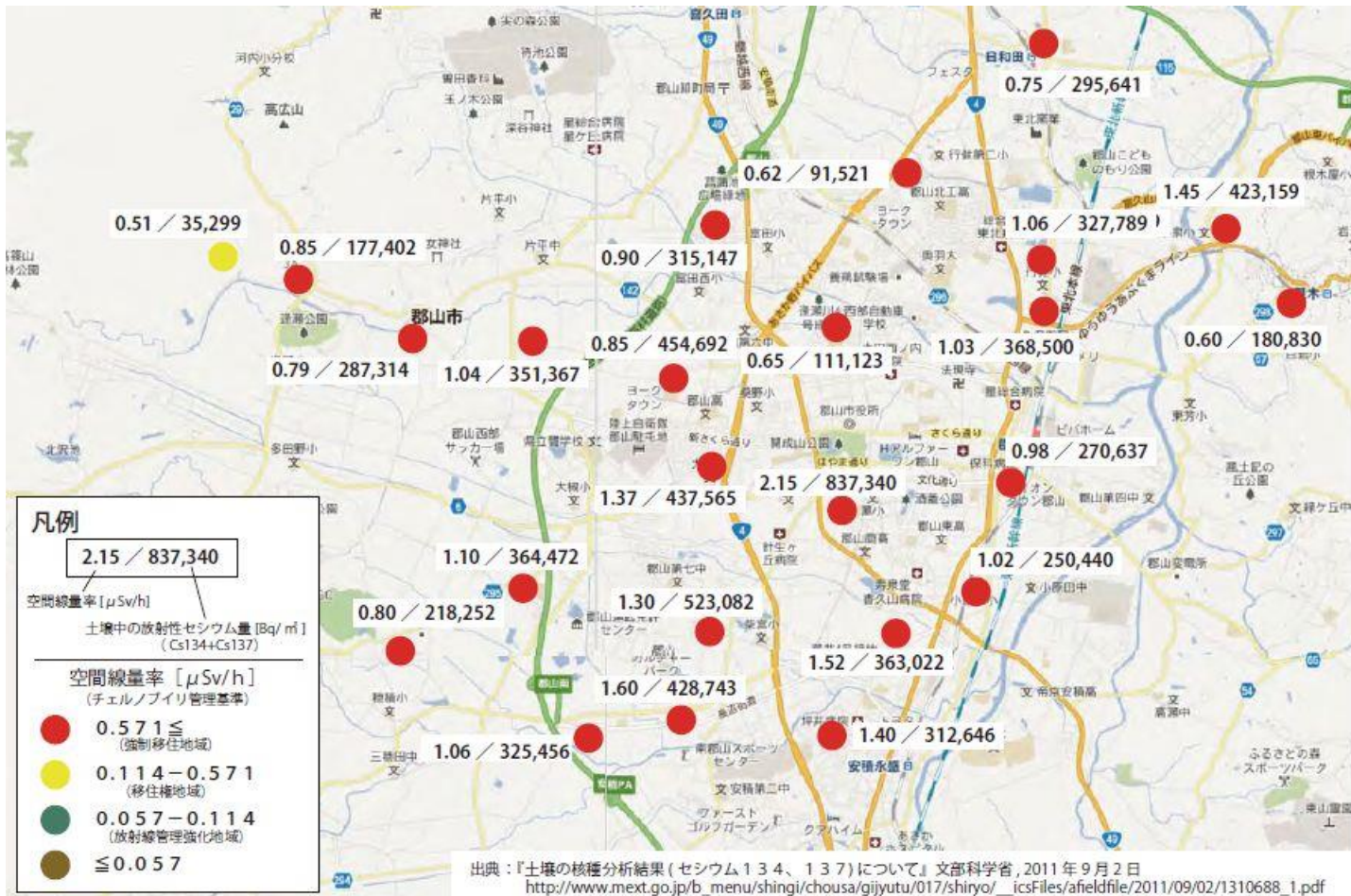
- 除染で線量は大きく減らず、逆に増えたところも
- 首都圏など低汚染地域では有効な場合もあるが、高汚染が広範囲に広がる場合には効果は期待できない

郡山市の当時の汚染状況①



- 「ふくしま集団疎開裁判」矢ヶ崎克馬意見書より(土壌汚染)
- チェルノブイリでは強制避難に相当する汚染が広範囲に

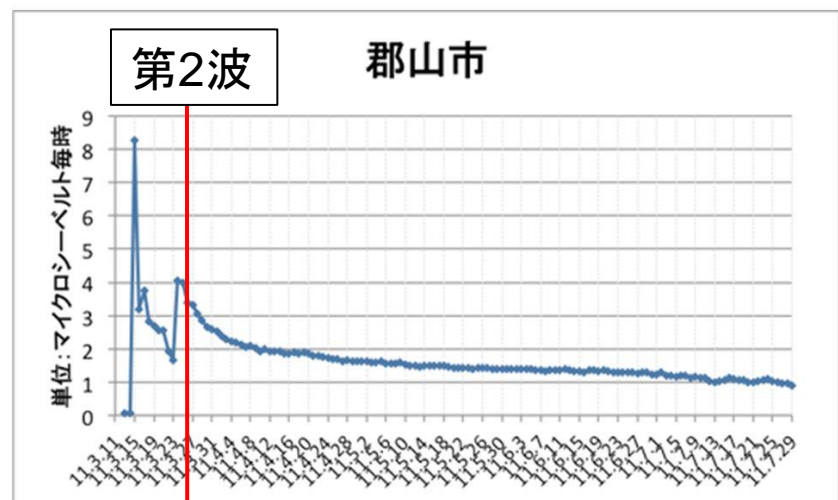
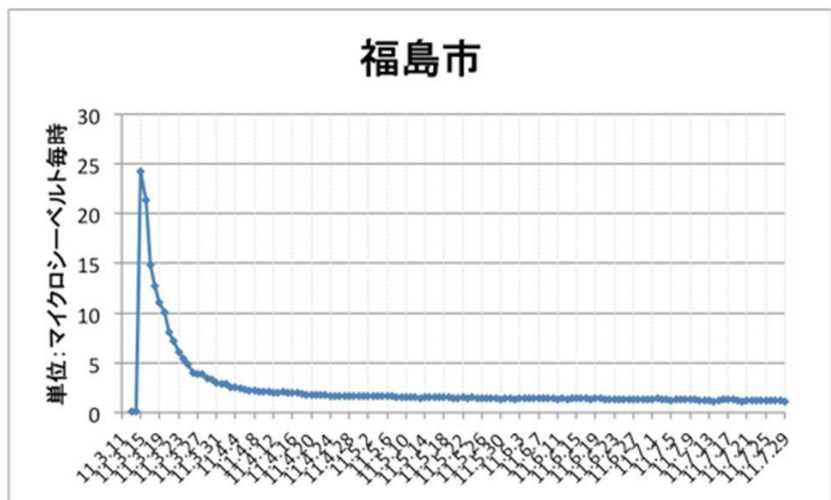
郡山市の当時の汚染状況②



- 「ふくしま集団疎開裁判」矢ヶ崎克馬意見書より(空間線量)
- 汚染が「まだら状態」の福島市と異なり全域がまんべんなく汚染

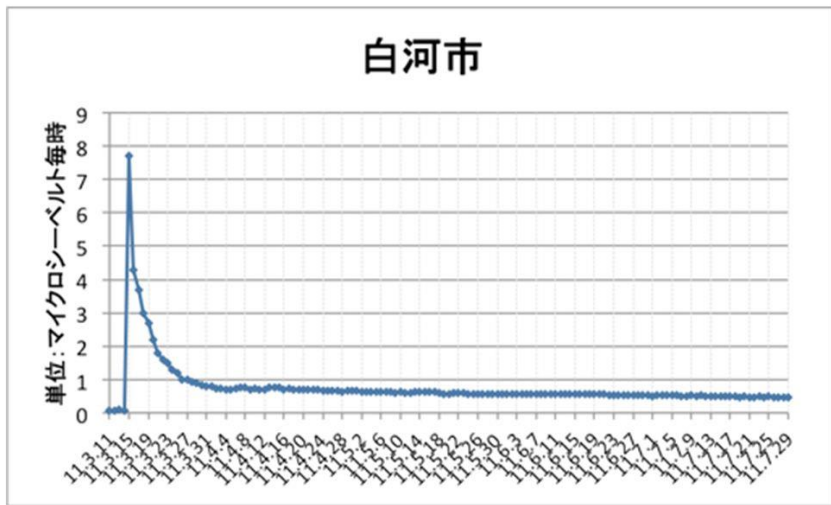
当時の空間線量推移(NHKサイト)

- NHKがホームページだけでこっそり公表していた当時の空間線量データ。
- 郡山市では2011.3.23に「第2波」があったが、福島市にはなかった(全体的には福島市が高い)。

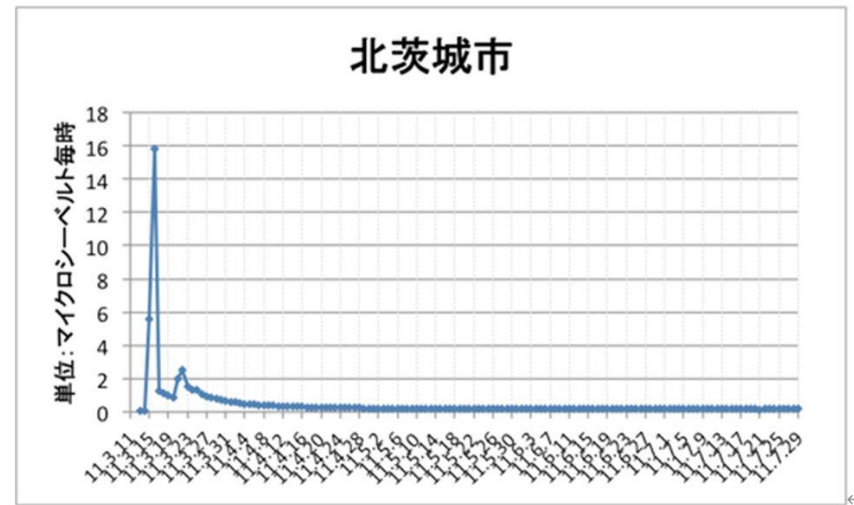


当時の空間線量推移(NHKサイト)

- 茨城県北茨城市(右)では、2011.3.15(3号機爆発直後)に16 μ Sv/hを記録。この数値は郡山市、白河市(最大約8 μ Sv/h)の2倍！



白河市の大気中放射線量 (2011. 7. 29 21時現在) 0.46 μ Sv/h



北茨城市民が闘う理由



- 北茨城市は、独自に子どもたちの甲状腺がん検査を続けてきた。
- ピーク時、郡山市や白河市の2倍の空間線量が記録された北茨城市。甲状腺がんが郡山、白河の2倍発生しても不思議ではない。

- 2021.3.27「さようなら原発首都圏集会」より。
- 常総生協は独自の甲状腺がん検査を実施。

北茨城市でも発生した甲状腺がん

COOP JOSO NEWS LETTER 2015 9-4

2015. 9. 7

COOP JOSO News Letter

常総生活協同組合
発行 / 生協広報G
tel 0297-48-4911

2015
happy anniversary
40th

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

北茨城市で

小児甲状腺がん3名

政府が「子ども・被災者支援法」の方針改定で、「検診の対象を（福島県以外に）拡大するつもりはない」と閣議決定したその日（8/25）、北茨城市は独自に実施していた甲状腺検診で3名が甲状腺がんの発症があったことを発表。

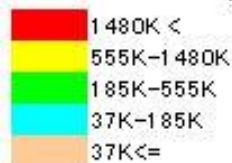
国が「福島県意外では必要ない」として支援をしないことから、北茨城市は「福島県いわき市に隣接し保護者の不安が高まっている」として、

○福島では 104 名が甲状腺がん確定

他方、福島県は国の予算で2011年10月より事故当時18才未満の子ども全てを対象に甲状

- 常総生協ニュース 2015.9.7発行より

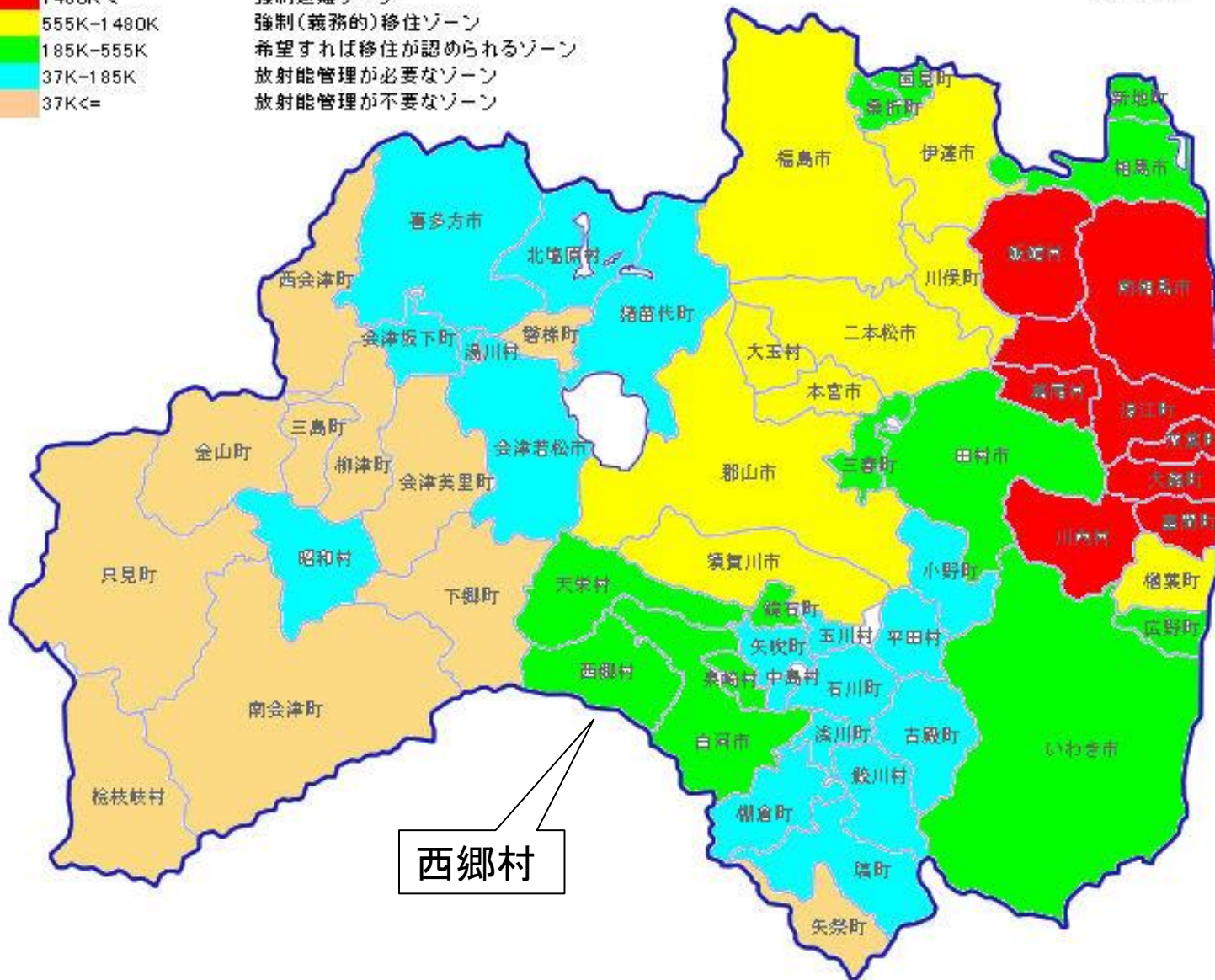
Cs-134及びCs-137の
合計濃度(Bq/m²)



チェルノブイリ原発事故おけるソ連政府の避難濃度基準による区分

2011/9/1

強制避難ゾーン
 強制(義務的)移住ゾーン
 希望すれば移住が認められるゾーン
 放射能管理が必要なゾーン
 放射能管理が不要なゾーン



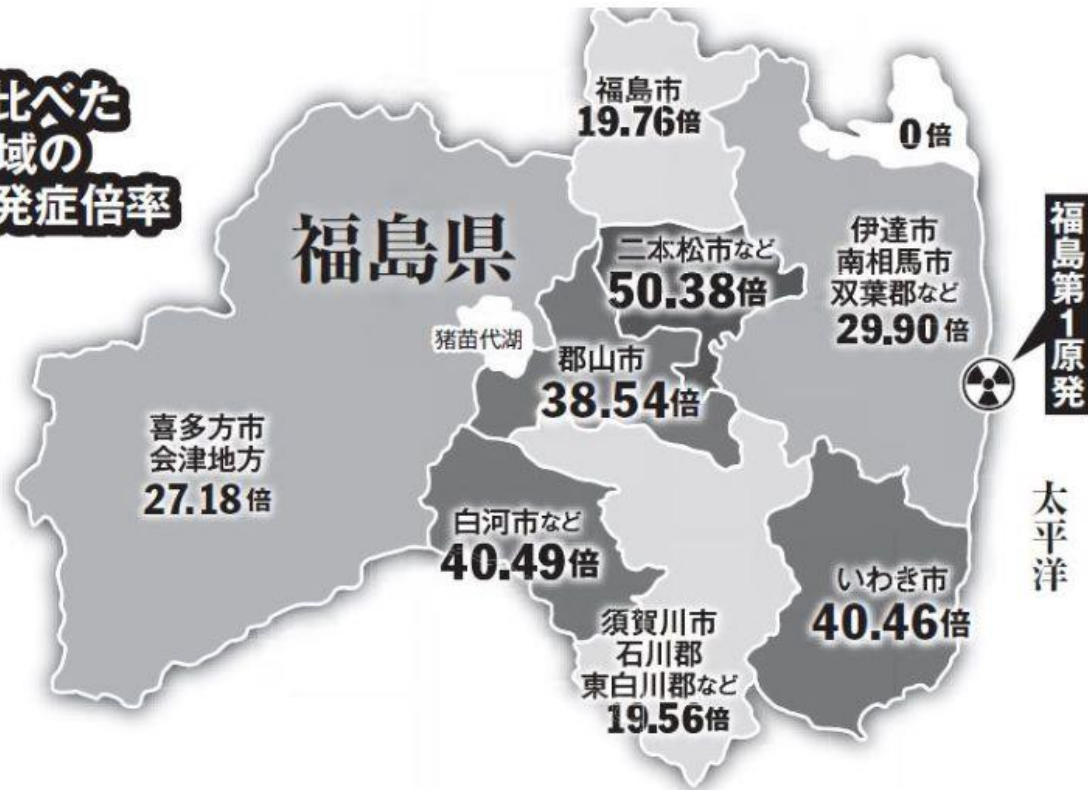
検討委の見解を覆すデータが判明！ (津田敏秀・岡山大教授調べ)

検討委の見解を覆すデータが判明！

2016.4.16付け「週刊プレイボーイ」

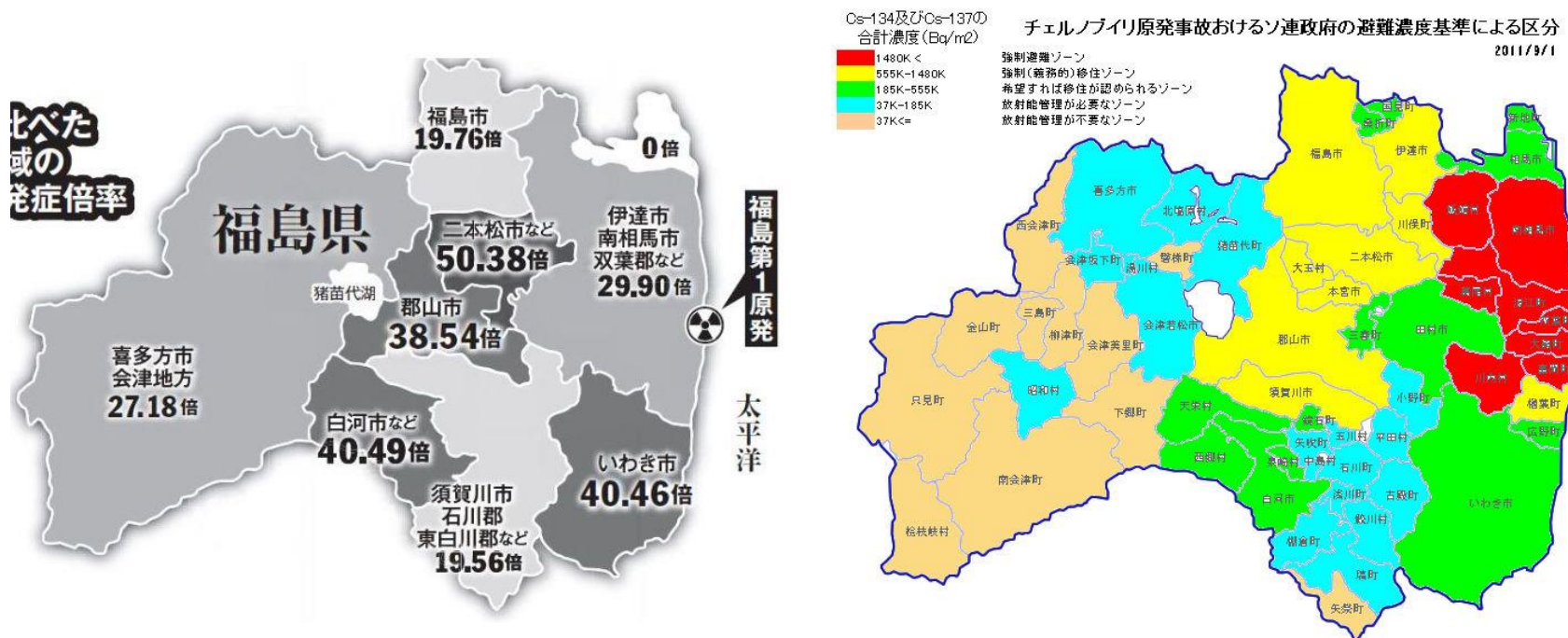
図表 1 全国平均と比べた 福島県各地域の 甲状腺がん発症倍率

岡山大の津田敏秀教授(環境疫学)は、福島県が作成したデータを使って子供の甲状腺がんの地域別発症率をはじき出したところ、全国平均と比べて最高50倍の所が出たという。地域で大差がないという検討委とは異なる結果だ(T.Tsuda/Huffington Post)



甲状腺がんの発生率を 「汚染地図」と並べてみると

汚染が激しい地域ほど甲状腺がんの発生倍率が高いという相関関係が明瞭に読み取れる。右図で汚染が最も激しい赤色の区域の発生倍率が低いのは、ここだけ早期に強制避難になったから。**避難政策の有効性を裏付けるデータ。**



事故による健康被害

早期死亡率(汚染地域)

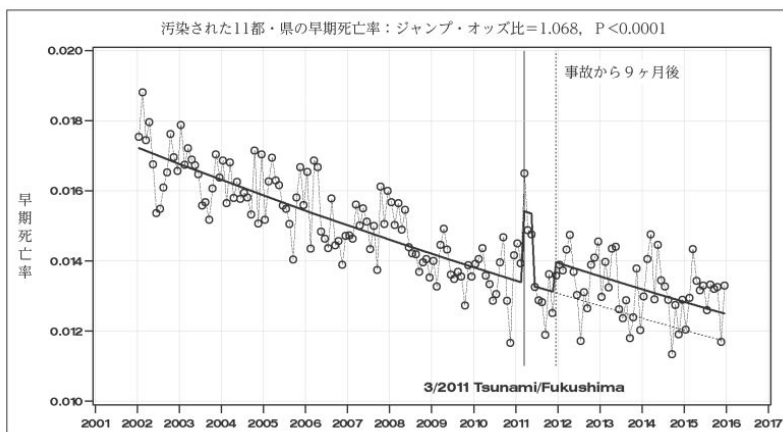


図2：津波後の汚染された11の都県のトレンド。2011年の3月から5月にかけて早期死亡の上昇ピークがあり、2011年12月以降長期的な上昇が続いている

早期死亡率(非汚染地域)

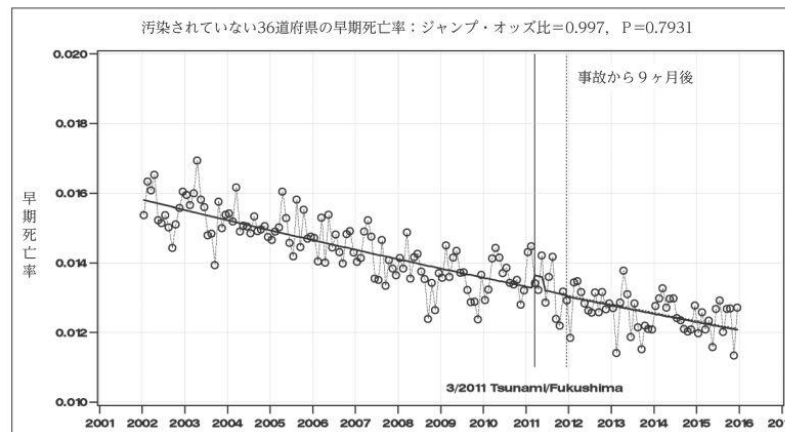


図3：津波後の汚染されなかった36の道府県のトレンド。2011年の3月から5月にかけて早期死亡に統計上有意な上昇がみられず、2011年12月以降長期的に有意な上昇も続いていない

日本小児科学会(2017年)における「医療問題研究会」報告。放射能汚染地域(千葉、福島、群馬、茨城、岩手、宮城、新潟、埼玉、栃木、東京、山形11都県、左)とそれ以外(右)の比較。汚染地域は事故直後に早期死亡のピークがあり、その後も死亡率が高止まり。

県立医大医師は安定ヨウ素剤を飲んでいった！！

ヨウ化カリウム丸
1415

月日	受	払	残	科名	払出者
3/15		300	1115	病棟	姜上
"		6	1019	眼科	三ツ
"		92	1017	外科	大竹
"		420	597	病棟	三ツ
"		4	593	眼科	三ツ
"		100	493	病棟	三ツ
3/15	4000		493	病棟	大竹
3/15		4493	0	病棟	大竹

ヨウ化カリウム丸 50mg

月日	受	払	残	科名	払出者
3	1000			外科	大竹
3/12		1	999		
3/13		20	979		大竹
3/14		200	779		三ツ
"		90	689		三ツ
"	4000		469		大竹
"		60	409		三ツ
"		100	4529		三ツ
"		20	4509		三ツ
"		24	4475	内科	三ツ
"		1	4474	内科	大竹
"		12	4462	内科	三ツ
"		1	4461	内科	大竹
"		2	4459	内科	三ツ
"		26	4433	内科	三ツ
"		2	4431	内科	三ツ
"		20	4411	内科	三ツ
"		28	4383	内科	三ツ
"		1000	3383	内科	三ツ
"		1000	2383	内科	三ツ
"		1000	1383	内科	三ツ
3/12		10	1373	内科	三ツ
3/15		4	1373	内科	三ツ
"	50		1423	内科	三ツ
"		8	1415	内科	三ツ

送付書

県立医科大学附属病院 病院経営課長様

福島県地域医療課長様

下記のとおり、安定ヨウ素剤をお送りします。

記

安定ヨウ素剤 4箱 (4,000錠)

印

三ツ

県民には、「安全だから服用するな」

事故直後、3月12日から医大の医師、職員、家族、学生は服用。口止めしていた。

(郡山の医師が情報公開請求して発覚)

数か所の町が自治体独自判断で服用した

「3・11甲状腺がん子ども基金」設立



甲状腺がんの子どもに医療資金を提供する民間市民団体による基金が発足。嬉しい動きだが、本来は国や自治体の仕事。なぜ市民がここまでしなければならないのか？

そして、甲状腺がんは裁判へ



事故以来11年間、健康被害を訴える声は徹底して抑圧、黙殺され続けた。福島在住の事故当時6～16歳の6人が、2022年1月27日、東京電力を提訴。

郡山市長が極秘作成していた避難計画

東日本大震災 **3.11** 震災・復興

独自

今明かされる極秘避難計画 子ども6千人、原発事故直後

有料会員記事

関根慎一、編集委員・太月規義 2020年12月11日 5時00分



2011年3月中旬、東京電力の福島第一原発で事故が起きた直後、60キロほどの福島県郡山市で、子ども6千人を避難させる計画が急ぎよ練られた。市民にも議会にも極秘にされた。

当時市長だった原正夫氏(77)、教育長だった木村孝雄氏(74)とともに、ことし11

福島県郡山市に「避難計画」があったことを報じる「朝日」。避難が自治体による住民防護として政策になり得ることを示している。(県内誌「政経東北」も2015年2月に報道)

学校疎開の成功例も



- 福島朝鮮初中級学校（福島県郡山市）が2011年5月から2学期が終わるまで、新潟朝鮮初中級学校に疎開。
- 各種学校だからこそ、文科省の方針に関わらず疎開できた。
- 避難の最大の妨害勢力は国（文科省）。

震災 死者数と「関連死」

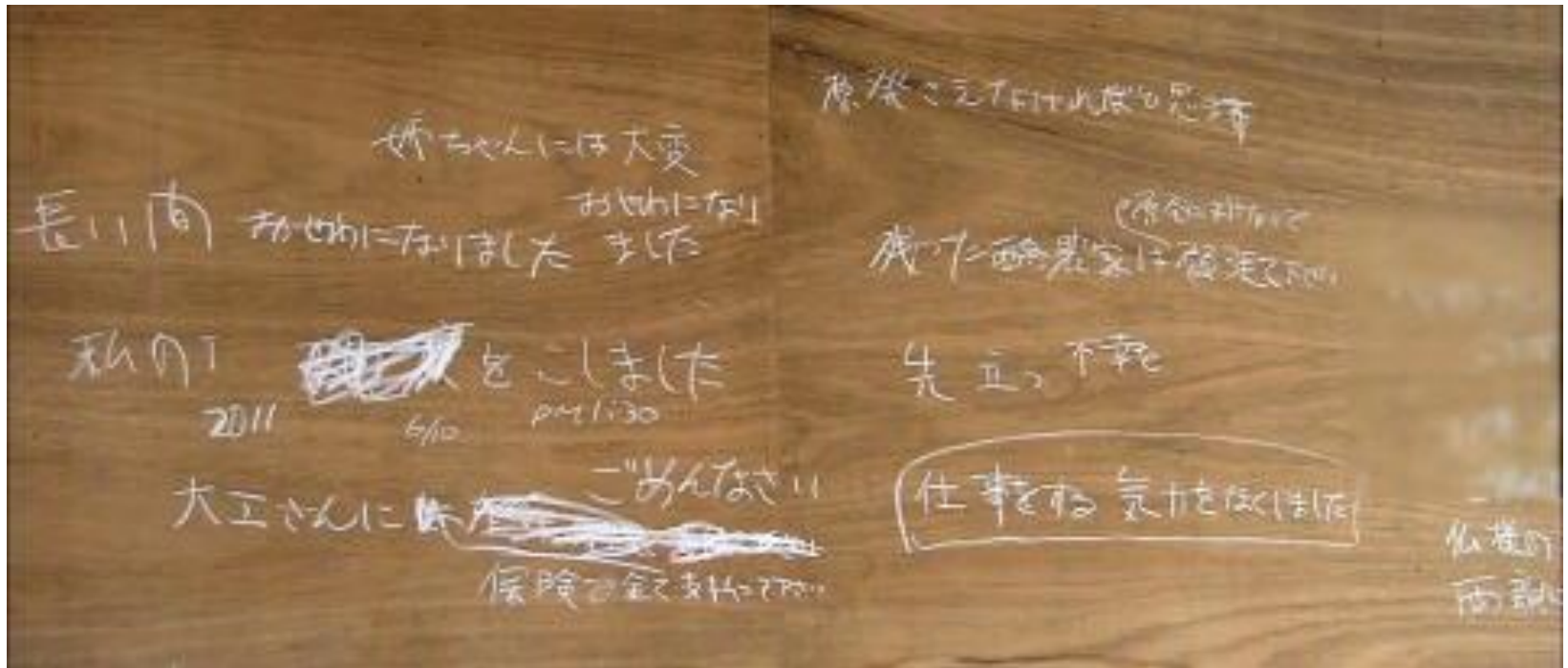
	死者数	「関連死」数
岩手県	5,145	470
宮城県	10,567	929
福島県	3,920	2,319

- 死者数 2021.3.1現在（「令和3年度消防白書」より）
- 関連死数 2021.3.31現在（復興庁資料より）

- 震災直接死は宮城県が全体の半分以上を占めるが、「関連死」は福島が突出。
- 関連死のほとんどは避難先での死亡や自死。原発事故の影響以外に考えられない。
- 「生業を失い、元に戻らない」「将来展望が描けない」などの理由で多くの人が自死した。

農業者はどうしていたか①

- 「原発さえなければ」相馬市の酪農家・菅野重清さん(当時54)は将来を悲観し、自死



農業者はどうしていたか②

- きちんと測定し、結果を公表する企業の例も(郡山市「酪王乳業」)
- <https://www.rakuou-milk.co.jp/wp-content/uploads/2019/07/jisyuken2019.pdf>

放射能物質自主検査

※検出限界値は、検査日・検査機関・測定機器ごとに異なる

検査月日	項目	検査機関	検査項目及び結果(<検出限界値)		測定機器	分析法
			セシウム134	セシウム137		
2019.6.19	酪王低脂肪乳1000ml	福島県ハイテクプラザ	検出せず<5.2	検出せず<4.6	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
	酪王コーヒー1000ml		検出せず<4.3	検出せず<4.3	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
	酪王ももりんご1000ml		検出せず<7.2	検出せず<8.0	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
	酪王白いお星さまヨーグルト90g		検出せず<6.7	検出せず<7.8	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
	酪王なかよしヨーグルト70g		検出せず<5.4	検出せず<8.0	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
	酪王なかよしプリン70g		検出せず<6.3	検出せず<7.6	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
	酪王生乳100%ヨーグルト400g		検出せず<6.5	検出せず<8.1	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
	生乳たっぷりのむヨーグルト180ml		検出せず<7.2	検出せず<7.0	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
2019.6.18	酪王牛乳1000ml	(公財)福島県保健衛生協会	検出せず<0.3	検出せず<0.3	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
	酪農家限定牛乳1000ml		検出せず<0.4	検出せず<0.3	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
2019.6.11	酪王牛乳1000ml	郡山市保健所	検出せず<4.40	検出せず<4.41	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
	酪王ハイカフェオレ1000ml		検出せず<3.70	検出せず<3.18	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
	酪王いちごオレ500ml		検出せず<4.01	検出せず<4.20	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
	酪王生乳100%ヨーグルト400g		検出せず<8.32	検出せず<8.39	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
	酪王牛乳ピン900ml		検出せず<4.49	検出せず<3.97	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
2019.5.28	酪王牛乳1000ml	郡山市保健所	検出せず<3.92	検出せず<3.87	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
	酪王カフェオレ1000ml		検出せず<4.30	検出せず<4.48	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
	酪王やさしいカフェオレ500ml		検出せず<4.13	検出せず<4.38	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
	酪王まごころヨーグルト230g		検出せず<8.72	検出せず<7.76	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー
	酪農家限定牛乳ピン900ml		検出せず<2.99	検出せず<4.15	ゲルマニウム半導体	γ線スペクトロメトリー

※直近1~2ヶ月の検査データ参照

農業者の対応

- ・私の職場でも、牛乳が基準値を超え、出荷できなくなる。
- ・個人が賠償を求めても東電はなかなか応じなかったが、県農協連が農家（非組合員含む）の賠償請求を取りまとめ一括請求すると、東電は応じた。
- ・県農協連は、福島県産米「全袋検査」の実務を担った。

福島のアちこちで住民分断

	意識	理由
子育て世代	子どもの将来を考え、避難したい	子どもの健康はお金では買えない 仕事は避難先で探せばいい
高齢者	帰還したい	避難区域にローンを払い終えた自宅があり、 自宅なら経費がかからないが、避難先では家賃など経費がかかる 年金はどこに住んでいても一律の支給なので、 自宅のほうが生活水準を上げられる 余生が少ないので被ばくの影響は限定的(→実際には誤り)

- それぞれの正義があり、どちらも本人にとっては合理的な選択
- 折り合いを付けることは難しい
- Zoomなどのオンラインが発達してきた今、避難した若い世代と、残った人をつなぐ新たなつながりを作れないだろうか？

「余生が少ないので被ばくの 影響は限定的」は本当か？

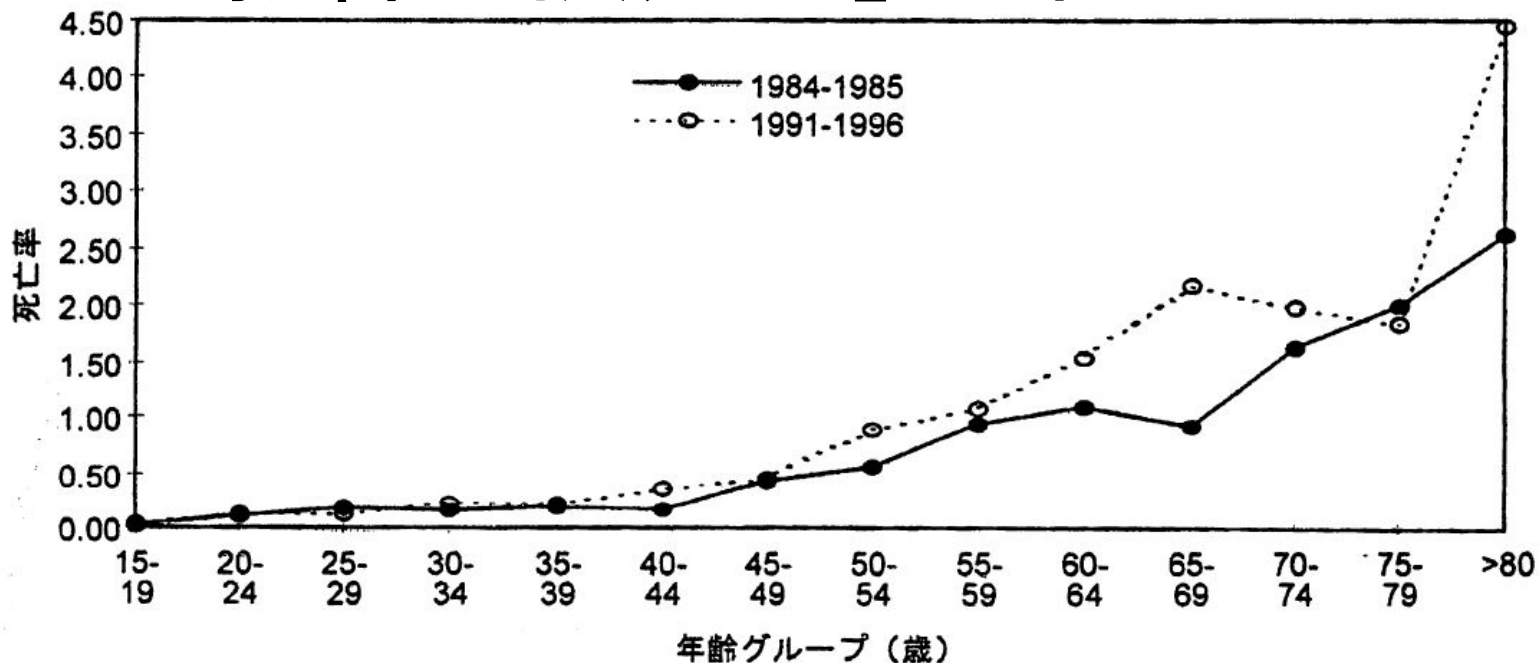


図9 1000人当り死亡率の年齢グループ別の内訳 (チェルノブイリ事故の前と後)

「ウクライナ・ルギヌイ地区の健康状態」(今中哲二)より
事故後(点線)のほうが増え、特に65~70歳、75歳以上で顕著な
差が見られる。放射能被害は甲状腺がんだけではない。

不安を持つことは罪ではない

- 2014年7月実施「福島市 第2回放射能に関する市民意識調査」より

表 21 放射線による健康不安-全体-

		大いに不安である	やや不安である	あまり不安ではない	不安ではない	計
外部被ばくによる健康不安 【本人に対して】	今回結果	407 27.2	652 43.5	322 21.5	118 7.9	1,499 100.0
	前回結果	1,198 40.5	1,201 40.6	434 14.7	128 4.3	2,961 100.0
外部被ばくによる健康不安 【家族に対して】	今回結果	668 45.3	519 35.2	197 13.4	90 6.1	1,474 100.0
	前回結果	1,822 61.8	814 27.6	236 8.0	74 2.5	2,946 100.0
内部被ばくによる健康不安 【本人に対して】	今回結果	435 29.0	622 41.5	333 22.2	110 7.3	1,500 100.0
	前回結果	1,362 45.3	1,141 38.0	384 12.8	117 3.9	3,004 100.0
内部被ばくによる健康不安 【家族に対して】	今回結果	685 46.3	515 34.8	190 12.8	89 6.0	1,479 100.0
	前回結果	1,919 65.2	757 25.7	199 6.8	66 2.2	2,941 100.0

注：「無回答」を除いて集計

不安を持つことは権利である

- 福島に残った市民も事故後3年の段階でまだ不安を持つ人が大半。不安を持つことは権利であり罪ではない。
- 生物は外敵に対する不安を持つことで自分と種を防御できる。「心のケア」は不安を持つことで自分と家族を守り、生き抜く権利の否定。人間としての種の生存も守れない。
- 浪江町では、ADR(裁判外紛争処理手続)に町が集団申し立て。分断を乗り越えるにはみんなで闘うこと。

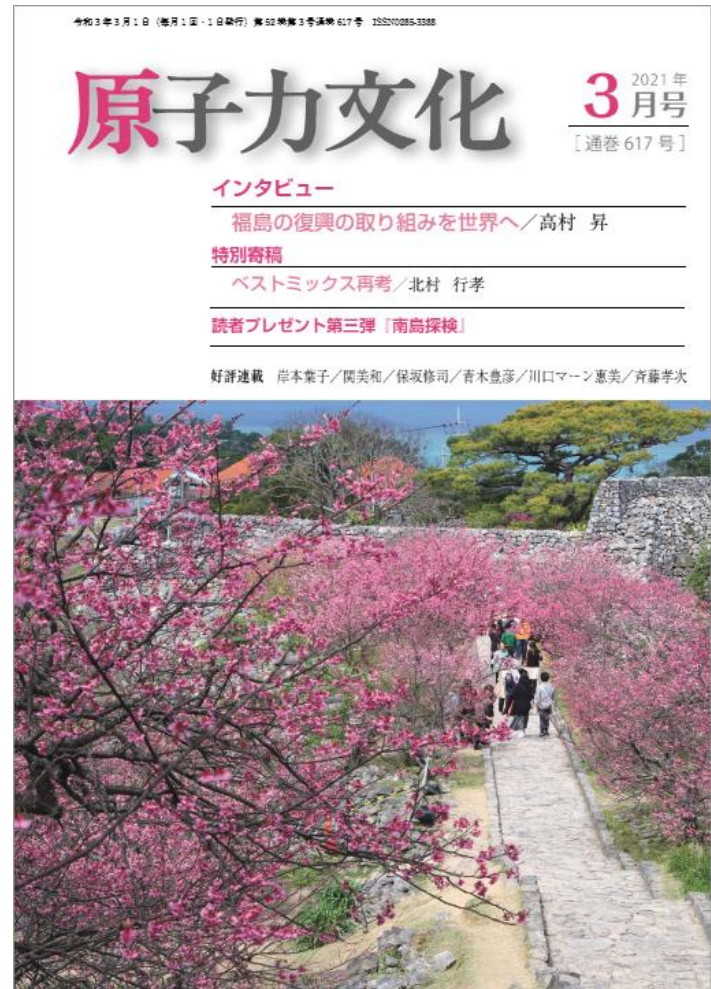
「不安」の声を上げ、連帯を！

- 不安は避難者、福島在住者、誰もが持っている。福島県民が「不安だ」と声を上げやすくなる環境をいかにして作るか。甲状腺がん裁判はその大きな一歩。
- 健康被害が事実でないなら「陰謀論」と放置しておけば済む。これだけ激しいバッシングを受けるのは「本当のことを言っているから」。
- 原発推進派が恐れているものは「3つの可視化」。①汚染実態②健康被害③核のごみ

3.11から10年。
この間、何が変わり、また
変わらなかったのか？

大きく変わったもの～世論

- 事故後は脱原発世論が圧倒的。「即廃止」「段階的廃止」を合わせると7割以上。
- 日本原子力文化財団の世論調査でさえ「廃止」が一度も6割を割ったことがない。
- 「原子力文化」・・・日本原子力文化財団発行の月刊誌。「チェルノブイリ原発事故が原因で甲状腺がんになった人は50人だけです」(重松逸造・元放射線影響研究所理事長)などというデマ発言を垂れ流す。原子カムラの洗脳媒体。



少し変わったもの、変わりつつあるもの～企業・民間団体

- JA全中(全国農協中央会)が将来的な脱原発を掲げた10年間(2013～2022年)の活動方針を採択(2012年9月)
- 城南信金など脱原発を公言する企業も
- 電力会社、経団連は原発に固執

将来的な脱原発に向けた循環型社会への取組みを地域から広げていきます。

● **将来的な脱原発をめざすべきです。**
安全な農産物を将来にわたって消費者に提供することはJAの使命です。
このため東日本大震災に伴う原発事故の教訓を踏まえ、JAグループとして将来的な脱原発をめざすべきと考えます。

● **再生可能エネルギーの利活用に取り組みます。**
太陽光・小水力などによる自然エネルギー発電やバイオマス資源など、地域のエネルギー資源を最大限活用できるよう取り組みます。
このため、小規模でも事業継続ができるよう、再生可能な売電価格の設定など長期的な視野での政策支援を求めています。

● **地球環境問題への取組みを組合員とともにすすめます。**
女性組織がすすめてきた「JA女性エコライフ宣言」に基づく日頃の環境保全運動(マイ箸、マイバック、生ゴミリサイクルなど)や省エネルギー運動(節電、節水など)について、JAグループ全体の取組みとして、組合員・地域住民とともに地域からすすめます。

資料: JA全国女性協
「JA女性エコライフ宣言」より

私たちにもできる地球温暖化防止



エアコンの温度設定
夏は26℃から28℃に。
冬は22℃から20℃にしましょう。

節水
お風呂の残り湯は洗濯に。
シャワーは1分短くしましょう。

節電
こまめに電気のスイッチを切ったり、コンセントを抜いて待機電力を減らしましょう。

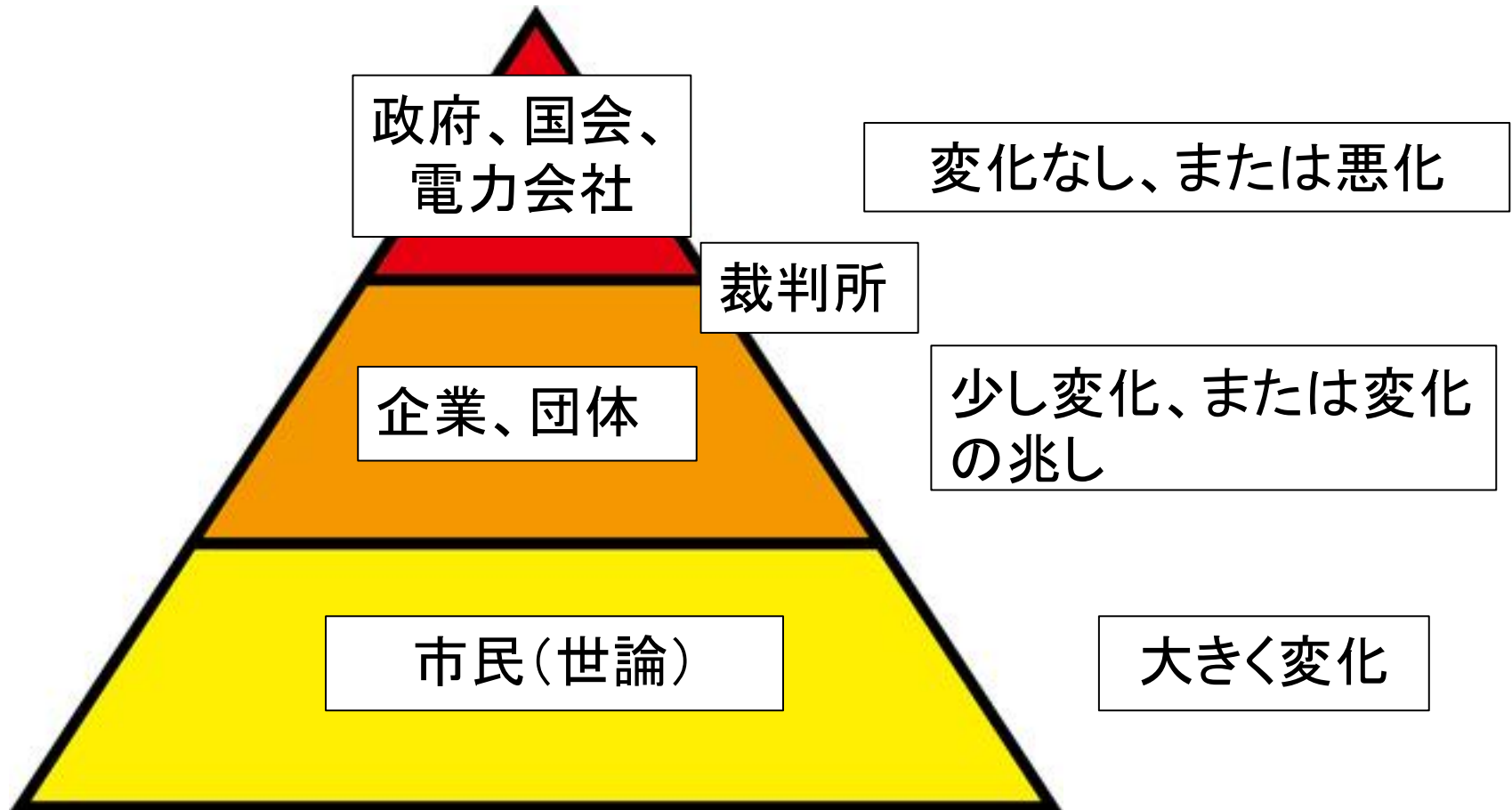
ここであげたのはほんの一例です。もちろん、私たちが取り組んでいる地産地消運動がもっとも重要な活動のひとつです。家庭で、JA女性組織で、地域で話し合っってはじめてませんか。一人ひとりの毎日の取組みが地球温暖化を防ぎます。身近なことからスタートすることで意識を高めましょう。地球に優しいだけでなく、節電にもつながり、私たちの暮らしを改善していきます。

JA全中の活動方針案(2012.9)

司法、立法、行政は？

- 司法・・・福島原発事故前、住民勝訴の原発訴訟は「半世紀で2回」(もんじゅ差し止め訴訟、志賀原発訴訟)。事故後は頻繁に差し止め判決が出るように。大幅勝率アップ
- 立法・・・事故前と変わらず。原発推進の自民が圧倒。
- 行政・・・事故前より劣化、墮落

権力構造の「上」ほど変わらず、 「下」ほど変わった



これからの時代を生きるために～ 「次の10年」の課題

- 権力構造の「下」から「上」へ、変化を波及させる。「下」から「上」へのチャンネルを作り、育てる～反原発運動を「政治変革」へ。野党共闘、市民と野党(自民党も?)のチャンネルづくり
- 企業に「脱原発をしたほうが利益になる」とわからせる
- ほとんどの福島県民、避難者は10年を「節目」と思っていない。原発事故の問題は何一つ解決しておらず、被害者救済に至っては始まってもない。10年を幕引きに使わせてはならない。

最後に～皆さん、自分に正直に生きていますか？

- 「原発は何となく怖いけど、仕方ない」
- 「知らなかったことにしておこう」
- 生き方の見直しを迫った3. 11
- 日本人みんなが、日常生活の中で少しずつ、何かをごまかしながら生きてきた結果では？
- もう、自分をごまかすのはやめよう。「清く正しく美しく」、子どもたちに胸を張れる生き方に変えよう。すべてはそこからしか始まらない。

ご清聴ありがとうございました。